

U♡heart

植草学園の今を伝える情報誌

授業紹介

教授・講師陣紹介 / Uekusa Life

学園だより / 学園ほっとNEWS

Vol.28

April 2022

特集

全国学校・園庭ビオトープコンクール受賞
環境保全・SDGsに繋がる教育

植草共生の森 MAP

生の森

植草共生の森(ビオトープ)

植草学園は、若葉区内の小倉キャンパスに1999年に短期大学、2008年には大学を開設し、教育・福祉・保健医療分野での人材の養成を始めました。
そこには、約2万㎡におよぶ雑木林があります。
 本学は学園一体となってこの森の整備、環境保全、各種のイベントに取り組むことで学生・児童・園児の自然環境教育の場、地域社会との交流の場として、その役割を担っています。



道の名前		
A ホタル坂	F ヒスイの散歩道	L 広場の小道
B 棚田坂	G エノキ・ストリート	M ぼんぼり小道
C 広場坂	H シイタケ・ロード	N ケヤキ道
D ブランコ・ストリート	I ウエタ・ロード	O 工作の道
E R 砂利道	J トト・ロード	P かぐや道
	K ハリギリの小道	Q イヌシデの小道

植草学園の取組はSDGsに繋がっています

III

11 住み続けられるまちづくりを

多様な人々とのコミュニティ環境を創生する

II

4 質の高い教育をみんなに

誰もが自然との様々なふれあいにより豊かな感性をはぐくむことのできる環境を創生する

- 授業での活用
- 園児・児童等の体験学習の場の提供
- 公開講座の開催

I

15 陸の豊かさも守ろう

持続可能な里山環境を構成し生物多様性を増大させる

植草共生の森の目標

植草共生の森の一年

春

田植え

夏

秋

▲ 稲刈り・脱穀

▲ ビオトープ祭り

▲ 森の遠足

▲ ホタル観賞会

冬

▲ 森の遠足

ご存じ
ですか？

植

草

共



ビオトープコンクール発表大会に参加して、他の学校の様々な取り組みを聞いて、自然の中でいきいきと活動する子どもたちの姿に感銘を受けました。また、植草共生の森が身近にあることが、どれほど恵まれた環境であるかを再認識することができて、とても嬉しく思います。子どもたちや私たちの日々の暮らしにとっての自然の重要性を理解し、自然を活用した教育のあり方について、もっと勉強していききたいと思います。



発達教育学部
発達支援教育学科 4年
吉原 美沙 (千葉県銚子市立銚子高等学校出身)

全国学校・園庭ビオトープ
コンクール2021にて最高賞のひとつ
『日本生態系協会会長賞』を受賞しました



令和4年1月23日(日)
国立オリンピック記念青少年総合センターにて「全国学校・園庭ビオトープコンクール2021発表大会」が行われ、理事長、学長、発表学生をはじめ、12名で参加しました。
本学が受賞した「日本生態系協会会長賞」は、森の生物多様性の向上を地域コミュニティの柱へと位置付ける取り組みが評価されたものです。発達教育学部の早川ゼミの学生が立派に日々の取り組みを発表しました。



今回、私はビオトープコンクール発表大会に発表者として参加させていただきました。
今まで、ビオトープの整備やイベントにたくさん参加してきましたが、受賞に貢献してきた実感はあまりありませんでした。しかし授賞式に出席したことで、自分たちが行ってきた小さな活動が素晴らしい賞に繋がったと感じ、本当に嬉しく思いました。
教員になってからも、自然とたくさん関わりそれを発信してきた経験を生かしていきたいと思っています。

令和3年度 発達教育学部 卒業生
関 歩乃佳 (千葉県立船橋啓明高等学校出身)



「植草共生の森」から人づくり

学校法人植草学園 理事長 植草 和典

全国学校・園庭ビオトープコンクールでの受賞は、森を取得したときからの念願でした。多くの方々に森の整備に関わっていただき、その夢が叶ったことに心から感謝いたします。

「植草共生の森」は植草学園大学のキャンパスに隣接し約2万㎡の広さがあります。

この森を「植草共生の森」と名付けた訳は、自然とのふれあい豊かな感性をはぐくむこと(自然との共生)、多様な人々とのコミュニティ環境を形成すること(地域との共生)を推進する場所にしたいと思ったからです。自然とふれあい自然の素晴らしさを実感する、自然の中で地域の人々と交流する、そんな森をイメージしました。

本学では、保育士や教員を養成しています。卒業後は保育や教育の現場で、環境保全の大切さを伝えることができます。可能であればビオトープなどでの活動を通して、子どもたちに自然を慈しむ心をはぐくんでほしいと願います。それが生態系を維持し、持続可能な社会を作っていくことになるからです。

今回の受賞を機に、改めて生態系を維持する重要性、そしてそれを後世まで伝えていく人づくり、その使命を認識できたと感じております。今後もこの賞に恥じぬよう、学生とともに森の整備や森を活用した楽しい活動を続けていきたいと思っています。





教育・保育を志すなら!

学生たちは様々なイベントを通して子どもたちとふれあう機会に恵まれています



植草共生の森の竹を使った七夕飾り



切り株アスレチック

学生と附属園との関わり

毎年春と秋には附属園(幼保連携型認定こども園植草学園大学附属弁天こども園)・認定こども園植草学園大学附属美浜幼稚園・植草学園千葉駅保育園)の子どもたちが学園バスに乗って遠足にやってきました。

コロナ禍前には学生が積極的にボランティアとして参加し、園児とグループを作り、共生の森を探索したり、自由に遊んだり、一緒にお弁当を食べたりしています。プランコの広場には大学の発達教育学部栗原ゼミの学生による「切り株アスレチック」もあり、子どもたちに大人気です。学生は単にボランティアを行うだけでなく、学生自身が体験内容を保育の学修や実践に繋げる貴重な機会となっています。

学生と森の関わり

本学ビオトープのアドバイザーである横田耕明先生とのお仲間(グループ2000)の協力を得て、栗原ゼミの学生が小学生たちと一緒にビオトープのグリーンアドベンチャーボードを製作しました。

共生の森の樹木への理解を深めるこの事業は、公益社団法人国土緑化推進機構助成事業となっており、一年を通じてビオトープの自然の変化を楽しんでいます。子どもたちの自然観察力には、大人が教えらるることばかり。大きなミスジマイマイを発見したり、地面のカブトムシの幼虫の死骸に気づいたりと驚きの連続です。キシヨウブの葉の葉脈を使った「葉っぱ飛ばし」はその飛行距離で子どもたちに敵いません。



ビオトープの活動を通して小学生とたくさん関わりました。一緒に製作をしたり、森の遊歩道などで遊んだりしました!最初は人見知りをして話をしてくれない子どももいましたが、時間が経つにつれて子どもの方から積極的に関わってきてくれるようになりました。私たちが活動前に協力して用意した遊具などで楽しく遊んでいる姿や、子どもたちから「ありがとう!」とお礼を言うことに感動をし、とてもやり甲斐を感じました!!これからもビオトープを通して様々な子どもたちと接する機会を大切にしていきたいと思えます。

発達教育学部 発達支援教育学科 4年
原田 彩菜 (千葉県立若松高等学校出身)



豆知識

ビオトープとはBio(生き物)とTope(場所)の造語で動植物が生態系を保って生息する環境をいいます



▲森で採れたつくしの天ぷら

共生の森人

共生の森人(もりんちゅ)は、大学の教育保育系ゼミの学生が中心となり森の整備や保全活動を行う学生のグループです。



授業・ゼミ

将来、保育士・幼稚園教諭・小学校教諭になった時に役に立つ内容がいっぱい。

「子どもと環境」の授業では、グループに分かれてビオトープの中の様々な植物を実際に見て、触れる機会があります。この授業を受講したことで、自然への関心が高まりました。また、ビオトープで育った竹を使って自分たちの手で竹ぼっくりや、竹太鼓などを作る体験もしました。竹ぼっくり作りはとても大変でしたが、普段体験できないことでとても楽しむことができました。この体験から、自然を見たり触れたり伝承遊びを知ることはとても大切なことだと学びました。



植草学園短期大学 こども未来学科 2年
上野 優雅
(千葉県立船橋古和金高等学校出身)

私は「子どもと環境」の授業で、自然との関わりやビオトープについて学ぶことができました。ビオトープについて「子どもと環境」の授業を受講するまでは詳しく知りませんでした。植草先生やアドバイザーである横田先生の授業を通して、様々なことを学ぶことができました。また、授業の中では、ビオトープ祭りで使用する竹を伐採してクラスみんなで協力しながら運ぶ体験をしました。切った竹で、子どもたちのために竹太鼓作りの研究をしました。さらに、ビオトープ祭りでは、子どもたちと一緒に作りながら、自然とふれあう大切さを学ぶことができました。



植草学園短期大学 こども未来学科 2年
川崎 希乃風
(千葉県立東金高等学校出身)

インクルーシブ保育の学びから子ども観が培われます。子どもたちは、植草共生の森で聴こえる「音」に意識を集中し耳でとらえた「音」を題材に水彩画で抽象的に表現します。これは、音楽表現・造形表現を通して子どもの表現についての理解を深め、保育者として成長することが目的の活動です。

保育者にも子どもにも多様な視点があることを学びます。お互いに異なるからこそ、共通理解の大切さを理解することができるのです。



附属園でのビオトープづくり 〜コロナポツクルの森〜

認定こども園植草学園大学附属美浜幼稚園では、昨年より子どもと教職員と学生と一緒に、ビオトープ作りを始めました。

残念なことには新型コロナウイルス対策のために、幼稚園には限られた人しか入れず、作業が中断しがちでした。幼稚園の近隣に住んでいる学生に限定しての作業。学生たちは子どもたちに接触しないように細心の注意をはらって作業しました。

平成29年3月に幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領が改訂され、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の「10の姿」が示されています。この「10の姿」は①健康な心と体②自立心③協同性

④道徳性・規範意識の芽生え⑤社会生活との関わり⑥思考力の芽生え⑦自然との関わり・生命尊重⑧数量や図形、文字等への関心・感覚⑨言葉による伝え合い⑩豊かな感性と表現とされています。

ビオトープの自然体験活動は、「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」のうち①健康な心と体⑦自然との関わり・生命の尊重⑨言葉による伝え合いの育成だけでなく⑧数量・図形・文字などへの関心・関心③協同性の育成にも繋がっています。これにより、学生自身には深い学びに繋がるとともに、遊びの豊かな拡がりとその遊びを見つめ、子どもの育ちを支える保育者の眼差しをも学んでいきます。



ビオトープの事前体験を重視した新たな実習教育の構築

-「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を指標にした
保育科学生・保育者・幼児の相互の学びに焦点をあてて-

2020年度日本保育者養成教育学会研究助成をいただき、おかげさまで大変貴重な機会を得ることができ、心より御礼申し上げます。今後も森の生物多様性の向上を子どもや学生の学びの場、地域コミュニティの柱へと位置付けるように取り組んで参ります。

植草学園短期大学
こども未来学科 教授 植草 一世



植草共生の森について



植草共生の森Instagram



授業紹介

01 日常生活活動学

日常生活活動学は、基本的な日常生活動作やコミュニケーションといった自立して生活するために毎日行う行為におけるリハビリテーション的視点を学び、患者様にとってより良い状態で日常生活を送っていただく術を考える授業です。患者様の日常生活動作がどれくらい自立して行えるのかを評価する方法（TimyやBathel indexなど）を、授業を通

して学んでいきます。これらの評価法は順序尺度の段階評価であり、患者様の動作を観察して段階を決定して行きます。この段階の決定には評価法、項目によって様々な注意点や例外などがあるため点数を決めるのがとても難しく感じました。ですが、本授業では先生の話をインプットするだけでなく項目ごとのインプットが終わった後、実際に対し学生たちが自身が評価の点数を考えて発表するなどのアウトプットをする機会を多く設けていただいたため、効率よく覚えることができましたと感じました。

その他にも、座学だけでなく患者様の臥位からの起き上がりの介助や座位からの移乗動作の介助を、実際にリハビリテーション用のベッドや車椅子を用いて行いました。方法をただ教えてもらうのではなく、その患者様の状態を説明していただき、まずは自分たちで実践し、方法を模索する授業スタイルが内容や方法の理解にとっても結びつきやすかったです。

このように、授業の中で学生自身が自分で考えて答えを探していくことがとてもおもしろく感じました。

保健医療学部
リハビリテーション学科 理学療法専攻 3年
今井 奏佑 (千葉県私立東京学館高等学校出身)



TEACHER'S VOICE 先生から



保健医療学部
リハビリテーション学科
理学療法専攻 准教授

角 正美

日常生活活動学は、学生には難しい内容であると思います。日常生活動作とは、私たちが朝起きてから夜眠るまで日常的に行っている全ての動作のことです。しかし、この動作は年齢や性別、役割や環境などあらゆる要素により一様にはなりません。初回授業では、自分の1日の生活を振り返り「生活するために必要な動作とは何か」について等身大の生活で考えます。その後、大学生の自分とは異なるライフステージで多様な生活背景をもつ方の生活をいかに理解し、適切に支えていくかを学びます。就職も結婚も子育ても未経験の学生にとって、その生活を想像することは非常に難しいことでしょう。しかし、難しいからこそ学ぶ必要があり、学んだ先に得られるものも大きいと思います。授業は対話を通し、できるだけ学生自身の力で学べるよう心がけています。



授業紹介

02

地域作業療法治療学Ⅱ

この授業では医療や介護に関する制度や法律を学び、それがどのように地域に生かされているかについて学びます。これは臨床に出た時、対象者の個人的、環境的な特徴や要因を基に、適応となるサービスを検討、紹介し、できるだけ自立した地域生活を送れるように支援することが目的となります。百田先生は制度、法律やサービスの適応を臨床



がり角は意外と恐怖感が強いことがわかりました。気心の知れた友だちの介助でさえ、怖かったことを覚えていきます。このように、福祉道具を使用し特徴を知り、臨床に近い例でサービスや制度が使用されたかを知ること、地域に根付いた作業療法を学び、サービスを提供する能力を身につけることができます。

に近い例を基に説明してくださるのでイメージがもちやすく、とても理解しやすいです。そして、疑問に思った点や知識がややふやな点は噛み砕いて説明していただき、分からないまま置き去りにされることがないのでとても安心して授業に臨むことができます。また、介護サービスなどで用いる車椅子や杖を実際に使用してみること、座学では伝わらないことが分かりました。たとえば車椅子は自走する時、その場の回転や段差移動にテクニックが必要で、回転の際は周囲に物がなければ車椅子の上から確認し、車椅子を持ち上げるためには、後ろに体重をかけるので、転倒しないかと不安になりました。また、介助される時、スピードや曲

保健医療学部
リハビリテーション学科 作業療法学専攻 3年

八重樫 宇蘭 (岩手県専修大学北上高等学校出身)

先生から TEACHER'S VOICE



保健医療学部
リハビリテーション学科
作業療法学専攻 教授

百田 貴洋

リハビリテーションが病院だけで完結する時代が終わってかなりの時間が過ぎました。しかし、人類や医療の歴史からみるとつい最近といえます。

地域作業療法治療学Ⅱは主に病院以外での作業療法を学ぶ機会です。

それは人の人生とリアルに向き合う場でもあります。

その場は、時代の流れに応じて変化し続けます。人工動態、文化、価値観、テクノロジーの進歩・・・

その場は、人によっても違います。女性、男性、未婚、学生、親、会社員、都会に住む人・・・

作業療法士は、様々なものや手段を駆使して人が地域で生きる力をサポートします。そのようなこれからの作業療法を学び、考える機会がこの授業です。





植草学園大学 保健医療学部
リハビリテーション学科
作業療法学専攻 教授

福山 英明

感覚統合アプローチと 作業療法

私は、学生時代に作業療法のアプローチ「感覚統合」を学んだことがきっかけで発達領域(小児)の作業療法に興味をもちました。感覚統合とは、作業(日常生活・遊び・学習)を行う時、人は様々な感覚器官を通して情報を取り入れ、脳で処理(知覚→認知→運動企画)をし、運動器を通して行為するという考え方をし、これを神経科学的な考え方に基づいており、人の行為を理解するうえで役立ちます。現在は、作業療法の現場だけでなく、児童発達支援における療育の場や特別支援教育でも多く取り入れられています。

たとえば、紙(はさみ)で紙に描いた円を切るという行為は、手で紙を持つ、紙を持つ、円を目で確認しながら切るという複合的な動作です。ここでは、紙や紙を持つという筋肉の動きだけでなく、手を微妙に動かす筋肉や関節の感覚、目で捉えたものと手を協調させて動かすという脳の処理過程が非常に大切



▲前庭感覚の刺激を通して姿勢反応の発達を促す



▲感覚統合に使用される様々な器具

なので、作業療法の現場では、手の使い方が不器用、運動がぎこちない、課題や活動に集中できない等の相談が多く寄せられますが、関節や筋肉の問題、やる気など気分の面だけでなく、感覚統合という観点からも療育スタッフや教員と協力してより豊かな子どもの発達支援を行っていきます。



植草学園大学 発達教育学部
発達支援教育学科 教授

小坂 裕皇

植草学園大学で 小学校の先生になろう



▲キャンパス内でもアピール!!

受験生のみならず、植草学園大学で小学校の先生を目指しませんか。本学では小学校教諭一種免許状は勿論のこと、特別支援学校教諭一種免許状等も取得できます。そして小学校現場に巣立っていった先輩がたくさんいます。先日も千葉市内のある小学校の研究會に参加した際、本学出身の先生が授業者として、6年生の担任で、子どもたちの考えや主体性を大切にしながら授業をされ、若いけれど魅力的な先生でした。この先生が植草学園大学出身と聞いて嬉しくなりました。

本学では、分かる授業を展開しながら、先生が植草学園大学出身と聞いて嬉しくなりました。



◀現場の先生たちとともに
つくっている教材



**全ての子どもたちをやさしく包み込む
保育者を目指します。**

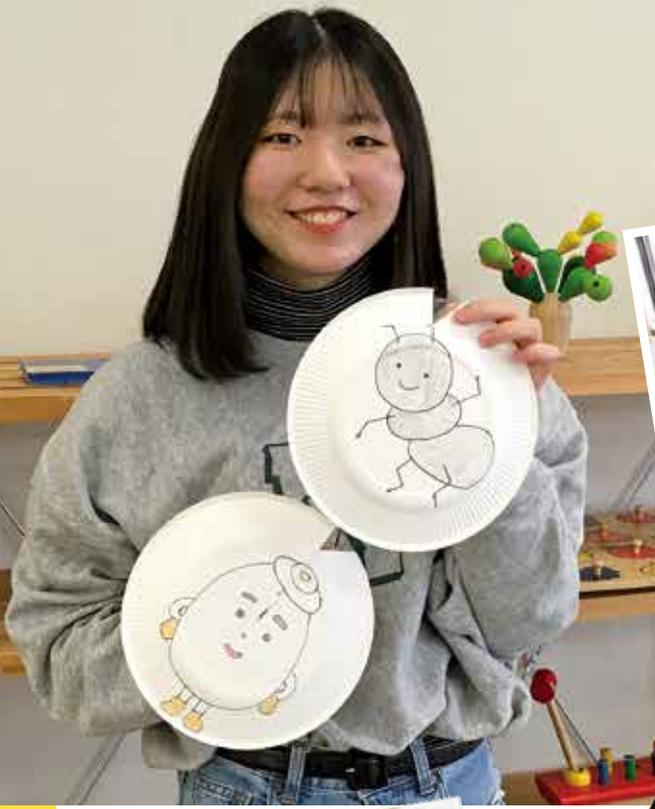
私は、小学生の時に行われた特別支援学校との交流会をきっかけに障害のある子どもたちへの支援について興味をもちました。

進路を決める際に、オープンキャンパスに参加し、インクルーシブ保育教育について本

格的に学ぶことができることに魅力を感じ、植草学園短期大学に、進学することを決めました。授業では、障害者支援について、「人に対する想い」をもって支えていくことの重要性を学びました。支援者とは、人生に関わるとても大切な存在だと感じ、真剣に取り組みたいと感じました。

これからも全ての子どもたちをやさしく包み込めるような保育者を目指しています。

植草学園短期大学
こども未来学科 2年
天川 京香
(千葉県立富里高等学校出身)



▲手づくり絵本

▲紙皿シアター▶



**ともに学ぶ友だち・先生との
距離が近い!!**

植草学園大学は、勉強をする環境が整っており、理学療法専攻や作業療法専攻は少人数制で授業を受けるため先生が一人ひとり分かるまで指導してくれます。また、各専攻のクラスには担任の先生がいるため、履修登録などの授業外での分からないことについても親身になって教えてくれます。私はこのような理由から植草学園大学を選びました。

学生生活ではともに学ぶ友だちができます。勉強は大変ですが、友だちがいることでがんばれます。私は遊ぶ時と勉強する時のメリハリを大事にしています。

私は将来、周りから頼られる



▲友だちと授業のおさらい中

ような理学療法士になりたいです。そのためには知識や技術が必要なので、大学の授業や臨床実習で身につけていきたいです。



植草学園大学 保健医療学部
リハビリテーション学科 3年
前田 龍哉
(千葉県私立桜林高等学校出身)



学園だより

附属施設の日常を紹介

Uekusa School NEWS

植草学園大学 附属高等学校

生徒たちは負けない

～邁進と栄光～

2月7日

2月8日

2月9日

テーブルマナー
ディズニーアンパサダーホテル泊

東京ディズニーランド
ディズニーアンパサダーホテル泊

東京ディズニーシー

令和4年2月7日～9日、2年生の修学旅行を実施しました。

初日は、宿泊するアンパサダーホテルにて、テーブルマナーを楽しく学びながら夕食をいただき貴重な経験をすることができました。

2日目は、東京ディズニーランドでの自由行動です。

園内をどのように回るかなど事前準備をしっかりと行い、閉園まで生徒たちは満喫していました。

最終日は、東京ディズニーシーにおける自由行動です。

天候にも恵まれ、生徒たちは、疲れた様子もなくアトラクションを楽しみながら、チュロスなどを食べ、思い思いに過ごしました。まだまだ滞在したいという気持ちをもった生徒も多く、高校生活の思い出に残る良い修学旅行となりました。



ソフトテニス部



- きらめきソフトテニスシングルス大会
個人 第2位 鈴木心菜
- 関東大会千葉県予選会
団体 第2位
個人 優勝 鈴木心菜・竹下ゆまペア
第9位 平山こころ・中村楓香ペア 長島彩子・相原愛ペア
熱田真尋・瀧口乃音ペア
- 関東大会
団体 第5位
個人 3回戦 鈴木心菜・竹下ゆまペア
2回戦 熱田真尋・瀧口乃音ペア
1回戦 平山こころ・中村楓香ペア 長島彩子・相原愛ペア
- ハイスクールジャパンカップ2021 出場 鈴木心菜・竹下ゆまペア
- 千葉県高校総体
団体 第5位
個人 第3位 鈴木心菜・竹下ゆまペア
第5位 江沢采香・平野心皐ペア
- 全国高校総体
個人 ベスト32 鈴木心菜・竹下ゆまペア
ベスト64 江沢采香・平野心皐ペア
- 千葉県高等学校新人体育大会(地区予選)
第3位 栗津七星・稲葉風花ペア
第5位 栗原佳可・齋藤綺李ペア 布施谷嶺・中後彩良ペア
- 千葉県高等学校新人体育大会(県大会)
団体戦 第5位
個人戦 第2位 長島彩子・相原愛ペア
第5位 布施谷嶺・中後彩良ペア、池田瑞希・平野心皐ペア
- 千葉県高等学校選抜インドア大会 団体出場
- 千葉県ソフトテニスシングルス選手権大会 第2位 長島彩子

なぎなた部

- 関東大会千葉県予選会
団体の部 優勝
演技の部 優勝 櫻庭彩・長嶋姫那組
第3位 武平姫奈・高井美音組
個人の部 第2位 櫻庭彩
第3位 武平姫奈
第4位 長嶋姫那
- 関東大会
団体の部 優勝
演技の部 第3位 櫻庭彩・長嶋姫那組
ベスト16 武平姫奈・高井美音組
個人の部 第2位 長嶋姫那
ベスト16 櫻庭彩 武平姫奈
- 千葉県高校総体
団体の部 優勝
演技の部 優勝 櫻庭彩・長嶋姫那組
第3位 武平姫奈・高井美音組
個人の部 優勝 長嶋姫那
第2位 櫻庭彩
- 全国高校総体
団体の部 第5位
演技の部 第5位 櫻庭彩・長嶋姫那組
個人の部 第5位 長嶋姫那
ベスト32 櫻庭彩
- 千葉県高等学校新人体育大会(県大会)
演技の部 優勝 高井美音・櫻庭理子組
個人の部 第2位 櫻庭理子
第3位 高井美音(全国選抜大会への出場権獲得)
- 全国選抜大会関東予選会
団体の部 優勝(全国選抜大会への出場権獲得)



部活動



進学

令和3年度 進路状況 (2022年2月21日現在)

植草学園大学

発達教育学部 17名
保健医療学部 8名

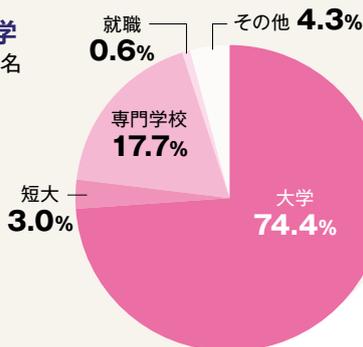
植草学園短期大学

こども未来学科 3名

附属高校として植草学園大学・植草学園短期大学へ28名の生徒が進学しました。

また、宇都宮大学、法政大学、東洋大学、國學院大など難関大学への合格者も出すことができました。

4年制大学には、全国平均を大きく上回る74.4%と、高い進学実績を残しています。



検定

実用英語検定

1級 2名/準1級 1名
2級 33名/準2級 92名

秘書技能検定

2級 1名/3級 31名

日本語ワープロ検定

準1級 1名/2級 1名
準2級 4名/3級 32名

バトントワリング部

- ダンスドリル選手権2021関東大会 POM部門 Large編成 出場
- バトントワリング千葉県大会 金賞
- バトントワリング関東大会 金賞 千葉県教育長賞
- バトントワリング全国大会 金賞
- ジャパンカップ2021全国高等学校マーチングバンド・ボンボン・バトントワリング選手権 第3位



バレーボール部

- 関東大会千葉県予選会 第3位
- 関東大会 出場
- 千葉県高校総体 第3位
- 関東私学大会 出場
- 全日本高等学校選手権大会千葉県代表決定戦 第3位
- 全国私立大会千葉県予選会 優勝(全国大会出場権獲得)



バドミントン部

- 関東大会千葉県予選会第7地区予選会 出場
- 千葉県高校総体第7地区予選会 個人 ベスト8 高柳咲音・大木栴
- 千葉県学年別大会第7地区予選会 出場
- 千葉県高校新人大会第7地区予選会 個人 ベスト8 大木栴・田口明日実

バスケットボール部

- 関東大会千葉県予選会第7地区予選会 出場
- 千葉県高校総体第7地区予選会 出場
- 千葉県U-17リーグ戦第7・8地区地域リーグ 出場

吹奏楽部

- 千葉県吹奏楽コンクール B部門 銀賞
- 千葉県マーチングコンテスト A部門 銀賞
- ジャパンカップ2021全国高等学校マーチングバンド・ボンボン・バトントワリング選手権 出場
- イオンモール幕張新都心「カンドゥー」クリスマスイベント 出演

弓道部

- 関東大会千葉県予選会第3地区予選会 出場
- 千葉県高校総体第3地区予選会 出場

校外活動部(陸上 走り高跳び 林野琴実)

- 千葉県高校総体第3支部予選会 第6位
- 千葉県高校総体 出場

校外活動部(卓球 岡村真稀)

- 関東大会千葉県予選会第7地区予選会 優勝
- 関東大会千葉県予選会 出場
- 千葉県高校総体 出場

美浜幼稚園



コロナ禍でのリモート交流

幼稚園・保育園・小学校の 望ましい連携と交流を目指して



▲6年生による絵本の読み聞かせ



▲5年生としっぽとりゲーム

今年度、美浜幼稚園は近隣の高洲第四小学校、まどか保育園と「友だち大好き 先生大好き 学校大好きな子どもをはぐくむ交流活動」をテーマに連携を図っています。これまでに、6年生による絵本の読み聞かせをはじめ、なかよし遊び、運動遊び、秋遊びなど、年長さんを中心にいろいろな学年と交流をしたり、お互いの情報(小学校:学年だよりや卒園児の成長記録/幼稚園:園だよりや遊び新聞など)を子どもたちが届け合ったりと、児童や教職員との関わりも含め、小学校という場がより身近に感じられる環境になっています。

また、就学時健診が始まる前には、小学校探検と検診についても教えていただきました。事前に内容を知ることができた子どもたちは、それぞれの検診先でも「楽しかったよ!」「この前やったことと一緒にやったよ!」と、安心とともにちょっぴり自信をつけて帰ってきました。

生活の場が大きく変わる子どもたちにとって「自分なりに見通しがもてること」は大きな安心感に繋がります。今回たくさんの交流を通して「小学校に行ってもやさしい上級生や先生たちがいる」そして何よりも小学校が「幼稚園と同じように楽しい場所」であることを実感した子どもたち。そういった意味でも、この取り組みはとても大きな役割を果たしてくれたのではないのでしょうか。今後も園で培った個々の経験や自信が、小学校でも十分に生かされるようお願いを込めながら、幼児期の学びと小学校教育の円滑な接続を目指していきたいと思ひます。



▲小学校へあそび新聞を届けに



▲楽しかったね!また遊ぼうね!

弁天こども園



大きなお芋が採れました

ウサギのスイートポテト▶



「食育」……おおきくなーれ! こころとからだ!!

5歳児が育てたサツマイモは、3歳以上児全員が芋堀を楽しみ、数日天日干しにし、洗って給食室に運び「○○を作ってください」とリクエスト!後日、給食としておまつチップス、シャキシャカポテト、大学芋となりテーブルに並びました。3歳未満児クラスにも3時のおやつに「ウサギのスイートポテト」として出されました。



▲お楽しみ会のスペシャルメニュー

12月のお楽しみ会後にはスペシャルメニューとして「ごはん、唐揚げ、ポテトサラダ、ブロッコリー、コンスープ」そしてトッピングが自由に選べる「とっぴんぐゼリー」が出来ます。子どもたちはお楽しみ会に登場したサンタクロースと会えたことも嬉しかったようですが、同じくらいおいしい給食を楽しんでいました。

新しい年を迎えた1月、今年から「餅つき会」に代わり「かまどパーティー」を行いました。「火や炎」を身近に見たことのない子どもたちにとっては「かまど」のなかで薪が燃える様子や穴から時々出てくる炎や煙の色が変わる様子等々を興味深く見ていました。

また、かまどの上のせいろで、植草共生の森で採れた餅米や5歳児が決めた野菜(レンコン、ブロッコリー、ジャガイモ)を蒸して給食としていただきました。「蒸した餅米をよく噛むとお餅みたになるね」「野菜は砂糖醤油につけて食べるとおいしいよ」と子どもたちはいろいろな味を試していました。

2月、節分の豆まき。大豆は誤嚥の危険性があることから使用せず、各クラスで大豆に代わるものを作成し豆まきをしました。その日の給食は「手巻き寿司」。子どもたちの好きな具材と海苔が各自に用意され、自分で好みに巻いていただきました。恵方の方角を見て食べていた子どももいたようです。

3月は桃の節句。三色井に飾り野菜、蛤のお吸い物、イチゴ、ひなあられに白酒に見立てたカルピスが並びます。

例年日々の保育の中で野菜の皮むきやクッキングなどを経験していきますが、ここ数年はコロナの影響によりそれもできない状況です。しかし、このように四季折々の伝統行事等と給食により、子どもたちの食への興味関心が深まり食欲も増し丈夫なからだに成長していきます。



▲手巻き寿司



▲かまどパーティー 蒸したもち米



▲桃の節句の行事食

小規模保育事業 植草学園

このはの家



0歳児 ぼくも挑戦

運動遊び ~意欲と笑顔をはぐくむ
保育環境を目指して~



▲2歳児 おみごと!!



▲あそびの発想 キャタピラー

令和2年12月に第一生命財団から身体作りの遊具として鉄棒やウェーブバランス平均台・スプリングマット等をいただきました。令和3年度は、いただいた遊具を保育に最大限有効利用するにはどうしたらよいのだろうかという大きな課題に取り組みました。

園内研修で子どもの運動発達について資料をもちより、今の子どもの姿と照らし合わせ、育つ道筋を学び直しました。「目の前の子どもに育ってほしい力は何か」「楽しみながら取り組める保育環境とは」「その遊びはどんな力が育つのか」などについて話し合いました。研修を進めていく中で保育士の子どもの見方に変化が生まれました。保育環境を考える柔軟なアイデアが浮かび、子どもが意欲的に取り組めるような関わりをし、保育士自身も楽しく保育している様子が伝わってきました。もちろん子どもたちも意欲的に遊びを楽しみ、動的遊びを苦手としていた子どもが笑顔で遊ぶ姿へと変わり、0歳児も大きい子の真似をしてみようとする気持ちを強くし、集団ならではの相乗効果がありました。全身遊びから指先の発達を促し、心の充実感や子ども同士の関わりへと繋がる運動遊びになっています。「乳児から2歳児までは心身の発達の基盤が形成される上で極めて重要な時期」(全国保育士倫理綱領/子どもの発達保障抜粋)であることを再認識し、このはの家チームで保育に取り組んでいます。



▲室内用鉄棒を青空の下で



▲広い園でジャンケンゲーム



▲釣り遊びのわくバランスとって!

植草学園

千葉駅保育園



みんなで仲良く遊ぼう

コロナ禍の保育におもうこと
~人と人とのふれあう大切さ~

新型コロナウイルス感染症が世界的に流行し3年目となります。ここ2年間新型コロナウイルス感染症に振り回されている社会状況です。

保育園においても感染症の対策で子どもたち、保護者、保育者等は気の休まらなかった時間を過ごしてきました。この原稿を執筆している今、第6波が猛威を振るっており、今回の株は、乳幼児期の子どもたちへの感染力が強く全国的に保育園等が臨時休園に追い込まれている状況です。不安な思いを抱きながら毎日消毒、換気、体調管理などを徹底して保育を運営してきました。

新型コロナウイルス感染症の感染防止対策は「人との接触を避ける」「人と距離を置く」ことが一番の対策だと言われ、様々な制約の中で生活することが当たり前になってきているように思います。保育園においてもく食事中の会話は極力避ける><密になるような行事の制限(中止)>等々新しい生活様式が日常になってきています。これらのことを当然だと思わず、子どもにとって保護者にとって最善なこと何なのかを捉えて保育をしていくことが重要だと考えます。最後に新型コロナウイルス感染症の中にいる今、改めて確認したことは「人と人との関わりがいかに大切であるか」ということです。ICT化が進み、人とふれあわずとも様々なことが完結する世の中になってきています。そんな時代だからこそ人と人がふれあい、子どもたちが腹の底から笑いあえる心地よさを感じる保育園を目指します。



▲ひいらぎの木



▲鬼のお面作ったよ



▲鬼は「ひいらぎいわし」がきらいなんだよ

School sketch



植草学園は昭和60年(1985)に創立80周年を迎えました。当時、昭和54年に開設された文化女子高等学校(現在は植草学園大学附属高等学校)では、生徒の増加とともに施設の拡充が求められていた頃です。特に、体育館は狭隘で全校生徒約800名が入ると、すし詰めの状況でした。そこで、弁天キャンパス近隣の旭硝子株式会社の社宅となっていた土地を購入し、バスケットコート2面が取れる体育館(1659㎡)を建築することになりました。用地の取得に当たっては、地主の旭硝子株式会社様の理解や関係者の努力なしには到底為しえないものでした。体育館の建築は、学園の創立80周年記念事業として行われ昭和62年に竣工し「植草学園創立80周年記念館」と命名、学内では「記念館」と呼ばれています。現在の記念館は冷暖房設備も完備し、体育の授業以外にもさまざまな行事に活用される重要な施設です。記念館の前には樹齢50年を超える大きな木蓮の木があり、毎年3月には純白の花が学園の歴史に彩りを添えてくれます。

学園長 **植草 和典**

植草
学園

教育研究振興資金

令和3年度 実績報告

寄附件数(延べ件数) **97件**
寄附金額 **3,696,300円** ※令和4年2月28日現在

寄附金の指定用途	令和2年度寄附金額	令和3年度事業
大学・短期大学の環境整備	960,000円	B棟・L棟プロジェクターおよびAV機器の更新工事等(427万円)に全額充当しました。
附属高校の環境整備	205,000円	授業に必須な校内通信環境向上(光回線増設工事等96万円)のために全額充当しました。
学生・生徒奨学金	135,000円	大学・高校スカラシップ生の授業料減免費等(902万円)に全額充当しました。
障害のある学生・生徒支援	56,000円	授業で使用するDVD教材の音声字幕に起こす有償ボランティアを学内で募り、聴覚に障害のある学生への支援の一助とするために全額充当しました。
用途指定なし	2,788,900円	小倉キャンパスのLED照明導入、A棟外壁改修および高校のトイレ改修工事等(18,788万円)に全額充当しました。
合 計	4,144,900円	

令和3年度中は「植草学園教育研究振興資金」に多額の寄附をいただき、誠にありがとうございました。
みなさまのご協力とご厚志に心より御礼申し上げます。

寄附者
ご芳名

順不同

令和3年9月1日～
令和4年2月28日現在

- 入澤 里子
- 桑名 俊一
- 神保 次郎
- ギャレックスチバ株式会社
- 植草 和典
- 株式会社千葉興業銀行千葉駅前支店
- 佐川 泰一
- 植草学園さくら会

寄附のお願い

本学園の学生生活と教育研究活動をより充実したものとするため、ご支援のほどよろしく願っています。



編集 後記

植草学園短期大学
こども未来学科
教授 **園川 緑**

今回のU-heartの特集は、「日本生態系協会会長賞」を受賞したビオトープのある共生の森の話題でした。初めて共生の森に入った時、「学内にこんな素敵な森があるなんて・何てすごい学校なのだろう」と感動したことを思い出します。ニホンアカガエルを見つけた時の学生の歓声も、一緒に聞こえてきそうです。ここで学べる学生は、本当に幸せだと思います。特集の美しい写真等で、心地良さの一端をぜひ感じていただけますように。



[U-heart 編集委員会(令和4年度)]
編集委員長 足立 英彦
副委員長 園川 緑
編集委員 大塚 栄子 福士 勇人
近藤 健 中村 愛理

植草学園大学・植草学園短期大学

OPEN 2022 CAMPUS

開催時間 10:00-14:00

5/21^土 6/12^日 6/25^土 7/17^日 7/30^土
8/7^日 8/20^土 12/17^土 3/21^{火祝}



入試説明会 10:00-12:00

9/23^{金祝}

個別相談会 10:00-12:00

11/12^土 11/13^日

学部・専攻説明、キャンパスツアー、入試説明、保護者対象説明、授業活動紹介、なんでも相談、
総合型選抜事前相談、体験コーナー

植草学園の
最新情報を
SNSでお届け!



YouTube



Instagram



Twitter



LINE



植草学園の今を伝える情報誌

U♥heart

2022年4月●日発行 発行/学校法人植草学園



植草学園大学/植草学園短期大学

〒264-0007 千葉市若葉区小倉町1639番3 Tel.043-233-9031(代) Fax.043-233-9088

入試・広報課 Tel. 043-239-2600(直通) URL: <https://www.uekusa.ac.jp>



ホームページ



Web
オープンキャンパス



Web
オープンキャンパス